2019/20 WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第 2790 地区　第 4 グループ

市原ロータリークラブ会報

第 2669 回例会　2020 年 1 月 22 日（水）　SAA/ 宮武会員　会報担当 / 川島事務局員

事務局　袖ケ浦市椎の森 385 － 21 株式会社リプラス内　　例会場　淡粋

●点　鐘　篠田会長
●ソ ン グ　それでこそロータリー
●お客様

●会長挨拶

皆様こんばんは。

今日は、新年親睦夜例会です。昨年の 7/3（水）に今年度の運営方針を発表させて頂いてから半年がたちました。その際に今年度RI会長のマーク・ダニエル・マローニー氏は、2019-20 年度のRIテーマを「ロータリーは世界をつなぐ」と、発表されました。メッセージの中で 4 つの協調事項を掲げました

1）ロータリーを成長させる：会員増強。

2）家族を参加させる：若い世代をありのままに迎え入れる必要がある。

3）ロータリーのリーダーになる道を拓く：ロータリーの梯子は上がるのが難しいものであるべきではない。その必要もない。各地区でロータリーのリーダーシップの文化を変え始めて欲しい。と、おっしゃいました。

一つ目のロータリーを成長させる：会員増強。については、今期1月現在で6名の新しい仲間を迎える事が出来ました。更には2月の第一例会において3名の新たな仲間を迎える予定です。会員増強としては、素晴らし成果をあげています。

二つ目の家族を参加させる：若い世代をありのままに迎え入れる必要がある。については、市原ロータリークラブの先輩会員の皆様には、新しい若い会員を受け入れていただき大変感謝しています。会員増強の『増』は会員の量を増やすことであり、増強の『強』は会員の質を高めることです。新入会員の入会後のフォローやオリエンテーションを実施し。会員向けの継続研修会を例会または、委員会を通じて実施していきます。この様な活動を通して、会員増強の『強』について、少しでも会員の質を高め、真の会員増強につなげたいと思います。

三つ目のロータリーのリーダーになる道を拓く：ロータリーの梯子は上がるのが難しいものであるべきではない。その必要もない。各地区でロータリーのリーダーシップの文化を変え始めて欲しい。については、新しく仲間に加わった会員の中から今後の市原ロータリークラブを背負って立つ会員が必ずや居ると信じています。

繰り返しになりますが、国際ロータリーのマローニー会長は**「ロータリーは世界をつなぐ」**、諸岡ガバナーは、**〈ロータリーから千葉を元気に〉**私は、今年度市原ロータリークラブのスローガンとして『**一歩踏み出す勇気!』～変わろうとする覚悟～**としました。7 月から半年、会員皆様と一歩踏み出しロータリーの様々な活動を通してロータリー会員のみならず、それに関わったすべての人が元気で笑顔になれるロータリークラブを目指して残りの任期を全うしたいと思います。

最後に重ねて会員皆様のご指導、ご支援、ご協力をお願い申し上げまして、半期終わった時点での会長挨拶といたします。
ありがとうございます

本日のメインプログラム

新年親睦夜例会

懐石料亭淡粋にて美味しいご馳走頂きました。

■ニコニコ・ソーリー

篠田会長・福原幹事　年始めの夜例会、今晩は良く飲んで、食べて語り合いましょう！

■出席報告　前々回確定 65.3%　本日出席 27 名
欠席 30 名　本日出席率 54.0%

■点　鐘　篠田会長

磯貝会員より新会員根本様の紹介がありました。

株式会社シャイン　飲食業経営根本様

第二部懇親会　会長より乾杯のご挨拶

締めのおんどは小池会員より